とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和8年2月9日（月）
クラス名（年齢）	1歳児（ことり組）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

雪で遊ぼう！

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

前日に雪が降り、園庭にまだ雪があることを登園してきた時に教えてくれたり、雪で遊んだことを楽しそうに教えてくれたので、園でも一緒に雪遊びを楽しみたいと思い設定した。

2、活動スケジュール

・いろいろなところにある雪を見つけて触れたり、カップに入れたりして遊ぶ
・雪を踏んだり、触ったりして感触などを楽しむ

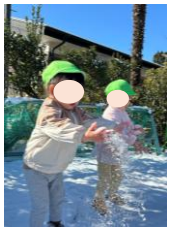
3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・シャベル、カップを用意する
・日陰と日向で遊べるようにする（雪がどのように変化するか）

＜活動内容＞

・木や葉についている雪に触れて遊ぶ
・雪の積もった砂場に入って遊ぶ
・園庭でシャベルやカップを使って雪を身近な物に見立ててままごとなどを楽しむ

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・雪が木の葉っぱに着いていることに気がついて雪を指で優しく触れてみる ・「冷たーい」と言って自分の指に着いた雪を友達に見せたり触れたりして楽しむ ・雪の塊を見つけて友達に渡してあげる ・友達が雪の上に横になると「私も～！」と言って一緒に横になり、自分の服の跡が雪に着いたことに気がついて教えていた ・雪を持って上に投げると粉雪が舞い、その様子を見て「キラキラ～」と言う ・「雨降っているね～」と遠くから雪の舞う様子をみて話していた ・「もう一回」と言って何度も繰り返し雪の舞う様子を喜んで歓声をあげる ・保育者の真似をして「先生、見てて！」と雪をまいて見せる ・転んだときに雪に手を着き、その拍子に手形が出来たことに気がついて手を雪に押し当てて形がつくことを喜ぶ ・その様子を見て他の子どもも真似をしてやってみる ・シャベルで雪をすくうと大きな雪が掘れてその大きさに驚きながら見せにくる	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・前日の雪が今日も残っていて一緒に遊ぶことができた。前日がちょうど日曜日だったこともあり家族で雪遊びをした子どもも多かった。その経験もあるためか、自分から雪に触れようとしたり、「冷たい」と言ってはいるものの以前の活動で氷を触ったときよりも積極的に触れている様子が多かった。雪はシャベルですくうこともできたり、大きな塊や小さな粉雪などさまざまな形もあり、子ども達も自分好みの物を集めて楽しむ姿も見られた。「先生、ここにもあるよ」と雪が宙に舞う様子が楽しくて繰り返し雪を持ってきて、まいてもらうことを喜んだり、普段はあまり氷に触れようとしない子どもも、積極的に雪に親しむことができ、とてもいい経験となった。